

JMFF

日機連週報

第3541号 2026年2月20日(金)

CONTENTS

● 表彰事業

「第12回ロボット大賞」募集を開始します！

● ワシントンレポート特別記事

米国港湾の最前線 — 5港の中長期的戦略 —

● 日機連の動き

ロボット革命・産業IoT イニシアティブ協議会(RRI)

【4th IR アカデミー(第12回) 「社会変革期のVUCA時代における人材育成WS
— ロボコンなどに見るα世代の未来 —」】について

● 会員イベント情報

(一社)日本ロボット工業会 講演会

「中国における人型ロボットと日本のとるべき戦略」のご案内

● WASHINGTON REPORT

1. IT大手がAI投資を続ける一方、投資家の疑念はますます深まっている
2. ケビン・ウォーシュ氏がジェローム・パウエルFRB議長の後任に指名される
3. 米国と中国は重要鉱物資源、自動車産業、ロボット産業で争っている

● お知らせ

(一社)日本包装機械工業会、(一社)日本食品機械工業会他

「Gulfood Manufacturing 2026」日本パピリオン募集のご案内

(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 公募4件のお知らせ

● 機械のチカラ(第14回)

(一社)日本ねじ工業協会の概要とねじに関する情報

日機連ではホームページを開設しておりますのでご利用下さい。

URL : <https://www.jmf.or.jp>

[バックナンバーはこちらから](#)

<禁無断転載>

● 表彰事業

「第12回ロボット大賞」募集を開始します！

日機連では、経済産業省、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、国土交通省との共催により、「第12回ロボット大賞」を実施して、ロボット、応用システム、ロボットビジネス、及びロボット人材育成等の普及拡大を支援し、貢献してまいりたいと考えております。

応募期間は2月16日(月)から5月8日(金)までとなっております。是非ご応募をお願い致します。

【応募のポイント】

- ◎ すでに市場実績のあるロボットのみでなく、研究開発段階のものであっても近い将来社会で活躍できる期待のあるロボットは募集の対象となります。
- ◎ ロボットメーカーのみでなく、ロボットユーザー、ロボットシステムインテグレーターもビジネス・社会実装部門などで応募が可能です。

【「第12回ロボット大賞」の応募方法】

① [公式ウェブページ](#)から応募エントリー

※ 自動返信でエントリー番号が送信されます。



② 「応募エントリー」後の自動返信メール記載の URL から、

● 「応募フォーム」へアクセス、必要事項の入力

● ロボット等の動作が確認できる1分以内の動画映像(1分以内厳守)をアップロード

※ 要素部品・技術やシステム等の案件で動画の用意が難しい場合のみ、製品等の概要が記載された資料(パンフレットなど)を任意でアップロードいただいても構いません



1. 今後のスケジュール

2月16日(月) 応募受付開始

5月8日(金) 応募書類受付締切 ※応募書類は当日必着

5月上旬～6月初旬 一次審査(書類審査)

7月上旬～9月上旬 二次審査(現地調査及びプレゼンテーションに基づく審査)

9月中旬 大臣賞他各賞の決定

11月18日(水) 表彰式、受賞ロボット合同展示(展示は18日～20日を予定) 会場:東京ビッグサイト



パンフレット詳細は画像をクリック!!

2. 事務局等

「第12回ロボット大賞」事務局

E-mail: info@robotaward.jp

<公式WEBサイト>

<https://www.robotaward.jp>

(お問い合わせ先) (一社)日本機械工業連合会 DX・技術部 益子、高田 TEL:03-6302-1484

Washington Report ワシントンレポート 特別記事

ワシントンコア社(ワシントン DC)より特別記事を寄稿いただきました。

米国港湾の最前線 — 5 港の中長期的戦略 —

米国の海事産業は、海運、造船、港湾を包含する分野であり、経済安全保障や国内製造業の復活といった複数の政策的アジェンダが絡み合う、米政権の重要政策領域の一つです。トランプ政権は政権発足以降、関税措置や外国籍船に対する追加の入港手数料の導入（現在は一時停止中）等、矢継ぎ早に海事関連政策を打ち出し、全米の港湾オペレーションに影響を及ぼしてきました。これにより港湾・海運関係企業は、サプライチェーン契約の見直し、複数調達の実施、航路変更や納期調整といった対応を迫られ、貨物取扱量の変動幅は拡大し、将来の不確実性が高まっています。

一方で、こうした政策環境の揺らぎにもかかわらず、全米の主要港湾は中長期的な成長を見据え、インフラ拡張や技術投資を着実に継続しています。特に、自動化・デジタル化は多くの港湾ターミナルや倉庫で急速に進展しています。貨物取扱プロセス、港湾内移動、資産管理の高度化により、滞留時間の短縮や慢性的な労働力不足の緩和が進み、さらに航路浚渫やバース拡張、鉄道・道路といった周辺インフラの整備も並行して実施されており、米国港湾の成長意欲は、政権の短期的な政策変動の影響を感じさせません。本稿では、こうした動きを象徴する 5 つの港湾の具体的な取組を紹介いたします。記事の詳細は下記 URL をクリックください。



記事の詳細は、画像か下記 URL をクリックして下さい。

<https://www.jmf.or.jp/jmf/wp-content/uploads/2026/02/WCOREtr10.pdf>

本資料及び米国投資・技術動向全般にご関心のある方はワシントンコアにお問い合わせください。

<https://www.wcore.com/home/contact-jp/#form-jp>

お問い合わせお待ちしております！

WASHINGTON | CORE

日機連の動き

- 2025年度ロボット大賞審査・運営委員会(委員長:谷川民生 (国研)産業技術総合研究所 研究戦略本部 ウェルビーイング実装研究センター 研究センター長)は、2月3日(火)に第3回委員会を開催し、「第12回ロボット大賞」の開催概要について討議した。また、2025年度調査研究報告書について取り纏め・意見交換を行った。

- 大阪事務所は、2月10日(火)に大阪機械広報懇話会(代表幹事・猪野陽一 (株)クボタ KESG 推進部長)の事務局として、同懇話会主催の広報研究会・見学会開催の支援を行った。広報研究会・見学会では、第一実業ビスウィル(株)(大阪府吹田市)にて開催し、会社概要説明の後、錠剤外観検査システムおよび錠剤印刷検査システムの見学、またミュージアムにて同社が提供する医薬品・電子部品向けの高精度な外観検査システムや最新技術の説明を受け、企業における、広報活動についての意見交換を行った。



○ 今後の会合予定

開催日時	会 合 概 要	場 所
25日(水) 14:00～	第2回機械安全標準化特別委員会、機械安全推進特別委員会(合同会議)	日機連会議室 2

	26 日(木) 14:00～	第 14 回技術イノベーション研究委員会 テーマ:「高付加価値設計・製造を実現する統合型レーザー金属積層造形技術の研究開発(仮)」 講師:大阪大学 接合科学研究所 教授 塚本 雅裕 様	日機連会議室 1
	26 日(木) 15:00～	25 年度第 3 回関西製造業における事業継続能力向上戦略調査専門部会・交流会	日機連 大阪事務所
	27 日(金) 14:30～	第 14 回 GVC 研究委員会 テーマ:「グローバルガバナンスの変容と経済安全保障を踏まえた対外投資～脱炭素を含めた世界の潮流変化と AZEC の将来像～(仮)」 講師:(株)国際協力銀行 常務執行役員 インフラ・環境ファイナンス部門長 関根 宏樹様	日機連会議室 1
3 月	2 日(月) 13:30～	ロボット大賞 ノミネート委員会 日機連会議室 2	日機連 会議室 1
	5 日(木) 15:30～	(大阪事務所) 第 100 回(2025年度第4回)関西事業活力研究委員会	ホテル阪急インターナショナル
	7 日(土)	関西日機連杯(大阪事務所)	兵庫県加古川市

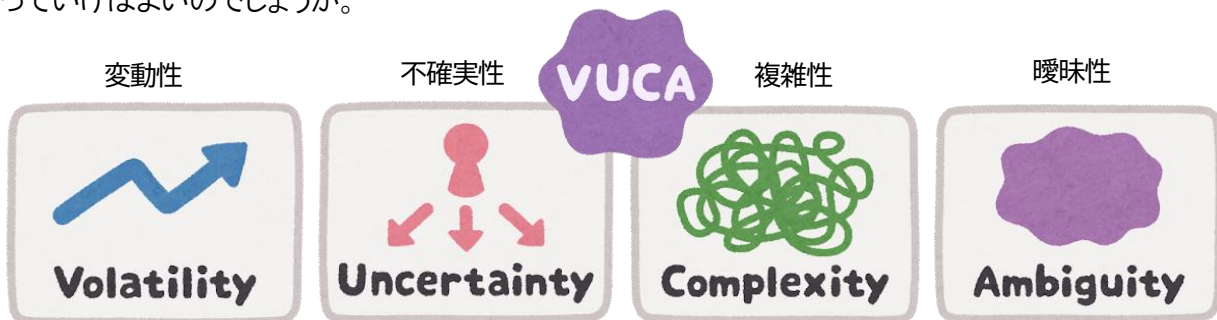


品川区来福寺の雪景色(写真提供:T.S.様)

ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)
【4th IR アカデミー（第 12 回）「社会変革期の VUCA 時代における人材育成 WS
－ ロボコンなどに見る α 世代の未来 －】 について

ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)が、2026 年 3 月 5 日(木)16:00～18:00 に開催する予定の 4th IR アカデミー(第 12 回)Webinar の「社会変革期の VUCA 時代における人材育成 WS － ロボコンなどに見る α 世代の未来 －」についてお知らせします。

急速な技術革新と価値観の変化が同時進行する現代社会は、将来の見通しが立てにくい「VUCA 時代」と呼ばれています。このような環境下で、私たちはどのように人材を育成し、次の社会を形づくっていけばよいのでしょうか。



1920 年代、発明家・豊田佐吉は、自らの経験と先見性をもとに、息子・喜一郎に「これからは自動車の時代が来る」と語り、日本の産業の未来を託しました。当時、自動車産業はまだ夢物語に近い存在でしたが、その志はやがて日本を代表する産業へと発展していきました。戦後には新幹線が誕生し、近年では iPhone や電子マネー、Uber に代表される新しいビジネスモデルが社会の前提を塗り替えてきました。

現在もまた、ドローン、サービスロボット、空飛ぶクルマ、宇宙開発、量子コンピュータ、AI など、これまでにない技術が次々と登場しています。これらは単なる製品開発ではなく、運用、事業、法制度、文化といった社会全体を同時に設計することを求める挑戦です。RRI が取り組む IoT による製造ビジネス変革やデータ連携基盤の構築も、同様の課題意識のもとにあります。

こうした変化の中で、若者世代は Z 世代からさらに α 世代へと移行しつつあります。本 Webinar は、国際的なロボットコンテストを題材に、若年層や専門技術者が最先端技術とどのように向き合い、社会実装へと関わっているのかを多角的に捉え、視点を共有しながら、産学官を含む多様なステークホルダーが果たすべき役割と、私たち自身に何ができるのかを共に考えるワークショップ形式の Webinar です。

4th IR アカデミーについて

産業革命とは、技術が広く社会・産業の変革を起こすことを指すとの理解から、多様な分野での変化と日本のギャップを捉えるために、RRI/WG1/産業 IoT ロードマップ調査研究委員会では、第 4 次産業革命(4th IR)アカデミーと題してセミナーを企画開催しています。関心のある話題などは是非お寄せください。企画の参考にさせていただきます。

(本講座は WG1/産業 IoT ロードマップ調査研究委員会の活動の一環として実施します。)

(本講座へは RRI 会員以外の方にもご参加いただけます。)

第 4 次産業革命アカデミーWebinar 第 12 回 概要

1. 日 時 : 2026 年 3 月 5 日(木) 16:00-18:00
2. 開催形式:WEB 会議(Webex)
3. プログラム:
 - 司 会 :水上 潔 氏(RRI WG1 産業 IoT アドバイザ)
 - (1) 16:05-16:20
講 演:世界ヒューマノイドロボット運動会で見ると、新技術と社会のつきあいかた
登壇者:高須正和氏(株)スイッチサイエンス国際事業開発/Heroad Investment パートナー)
 - (2) 16:20-16:35
講 演:先端人材を育成する中国のロボット競技と国内事例
登壇者:川節拓実氏((一社)次世代ロボットエンジニア支援機構 代表理事/京都大学大学院工学研究科 講師)
 - (3) 16:35-16:50
講 演:グローバルサウスの子供達の衝撃の成長 日本の科学技術人材育成とのギャップ
登壇者:鈴木 健太郎 氏(Global innovator ACADEMY 学長)
 - (4) 16:50-17:05
講 演:なぜ“自社だけでは”次世代エンジニアを確保できなくなったのか
- 米中ロボット競技会に学ぶ、業界投資という選択 -
登壇者:五十嵐広希氏(東京大学大学院 工学系研究科 特任研究員)
 - (5) 17:05-18:00 パネルディスカッション
【パネリスト】 高須正和氏 川節拓実氏 鈴木健太郎氏 五十嵐広希氏
【モデレータ】 水上 潔 氏
4. 参加申込み方法:<https://www.jmfri.gr.jp/events/events-9247/>
5. 申込み締切:3/4(水)までにご参加登録をお願い致します。

過去の講演資料を以下のサイトで公開していますので、ご興味のある方は参照ください。
[4th IR アカデミー 開催履歴](#)



ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会
Robot Revolution & Industrial IoT Initiative

なお、[詳細は RRI ホームページにアクセス](#)をお願いします。

〔ロボット革命・産業 IoT イニシアティブ協議会(RRI)〕

会員イベント情報

(一社)日本ロボット工業会 講演会「中国における人型ロボットと日本のとるべき戦略」のご案内

[一般社団法人 日本ロボット工業会](#)ではロボットの社会普及について議論するため、ロボット未来開拓会議の活動を行っています。このたび、(株)野村総合研究所エキスパートの李様に、同会議で標題の講演をいただくことになりましたので、参加のご案内を申し上げます。

AI ロボットについては、AI の進化待ちを公言し、人型ロボットへの投資を先送りする動きもありますが、Chat GPT をはじめとする AI の進化のスピードは見計ることが困難なものであってみれば、産業として盛り上がるタイミングが来る前に、まずは山のすそ野に居合わせる必要があるのかも知れません。

講演では、人型ロボットの開発と利用が進んだ中国における、技術やビジネスの最新の動向、エコシステム、それらの分析から得られる示唆などを、この分野の第一人者の方にお話しいただきます。

この機会に、ぜひ奮ってご参加頂ければ幸いです。皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

記

講演会「中国における人型ロボットと日本のとるべき戦略」の概要

日 時:2026 年 3 月 3 日(火) 13:15~13:55(講演), 13:55~14:10(質疑応答)

形 式:原則として WEB 形式で行います(Zoom を使用)

議 題:「中国における人型ロボットと日本のとるべき戦略」

講 師:(株)野村総合研究所 未来創発センター エキスパート 李 智慧 氏

講師のプロフィールについては[こちらをクリックしてください](#)。最近では『週刊 エコノミスト』(毎日新聞出版)

2026 年 2 月 10 日号(特集 中国)に、ご論考「ヒューマノイド 工場作業から販売店員まで 量産化、商用化でも中国リード」を発表されています。

対象者:ロボット関連企業の方。人型ロボットの開発や社会利用に関心のある方

参加費:無料

申込方法 参加申込みは、[\(一社\)日本ロボット工業会公式サイト](#)の専用フォームよりお願いします

申込期限:(3 月 2 日(月)まで)

主催 (一社)日本ロボット工業会 E-mail social@jara.jp Tel 03-3434-2919



一般社団法人 日本ロボット工業会
Japan Robot Association

[セミナーの詳細・お申込みは、\(一社\)日本ロボット工業会の公式ホームページのリンクへ！！](#)

Washington Report ワシントンレポート



毎週日曜日に行われるミサでは、移民家族を守ろうという神父の呼びかけに多くの人々が賛同しています。現在この教会には地域住民が集まり、移民家族に寄り添いながら、立ち会いや見守りの活動を続けています。

(出典: shutterstock.com)

現在、米国では移民・税関取締局(ICE)による不法滞在者への取り締まりが強化されています。その影響で、親だけが突然強制送還され、米国市民権を持つ子どもが取り残されてしまう、いわゆる「家族分離」への不安が、移民コミュニティの間で広がっています。こうした不測の事態に備え、ビザを持たない多くの親たちは、苦渋の選択を迫られています。信頼できる知人に子どもの預け先を相談したり、学校の緊急連絡先を更新したり、いつ訪れるかわからない別れの日を見据え、必死の備えを進めています。このような過酷な状況の中で、大きな支えとなっているのが地域コミュニティや教会の存在です。メリーランド州ハイアツビルにある教会では、神父が 3 歳から 17 歳までの子ども 14 人の法的後見人となる委任状に署名をしました。現在、この教会では実際に拘束された母親に代わり、4 歳の男の子と生後 18 か月の妹を保護しています。子供達は周囲の支援を受けながら、平穏な日常を必死につなぎ止めています。いまや教会は、信仰の場を超え、移民家族を理不尽な家族分離から守る「避難所」としての役割を強めています。この取り組みに呼応するように、法的な後見契約を検討する家庭も増えつつあります。神父は、この支援の輪を他の教会や地域にも広げていきたいと語っています。厳しい状況の中でも、地域で支え合い、子供達の未来を守ろうとする温かな連携が、米国の草の根から静かに広がりはじめています。



1. IT 大手が AI 投資を続ける一方、投資家の疑念はますます深まっている

Alphabet

アルファベット(Google の親会社)は、人工知能(AI)プログラム「Gemini」の成功で、2025 年第 4 四半期の利益が 30%増加し、年間売上高が初めて 4,000 億ドルを超えたと発表した。Gemini が競合相手をリードしている状況で、アルファベットは、AIプログラムの成長を

支え、AI 競争での優位を守るため、インフラ整備の投資額を 2025 年の 900 億ドルから 2026 年には 1,850 億ドルまで倍増させることを明らかにした。アマゾンとメタも AI 競争を戦い抜くため多額の投資を行ってきており、2026 年にはそれぞれ 2,000 億ドルと 1,350 億ドルを投入する計画だ。

投資家の中には、利益を著しく圧迫するとの懸念から、アルファベットやその競合相手が行っている莫大な額の設備投資に不満を感じている者もいる。そうした不満と、サービスとしてのソフトウェア(SaaS)の売上減少につながりかねないオープンソース AI ソフトウェアの登場など、AI 事業の利益率を低下させる可能性のある要因とが相まって、ハイテク株の売りと株価の下落が引き起こされている。また、多くの投資家が、エネルギーなど伝統的な経済セクターへと移って行っている。

データセンターをはじめとするインフラへの大規模投資により、建設会社や冷却設備メーカー、電気機器メーカーなど非テック系業界では AI 景気に関連する活況が見られる。これらの非テクノロジー業界に対する需要は、業界自体による予測のみならず、業界全体の供給能力さえも超えることがたびたび起きている。また、不透明な AI 景気の先行きや AI テクノロジー需要の変化への対応も避けることができない。

(ニューヨーク・タイムズ、2026 年 2 月 4 日)

ニューヨーク・タイムズ、2026 年 2 月 6 日)(ウォール・ストリート・ジャーナル、2026 年 2 月 6 日)

2. ケビン・ウォーシュ氏がジェローム・パウエル FRB 議長の後任に指名される

現在の連邦準備制度理事会(FRB)議長ジェローム・パウエル氏の任期は 2026 年 5 月までとなっている。トランプ大統領は、大幅な金利引き下げという政権の要求に応えていないとしてパウエル議長を非難してきた。司法省はパウエル氏に対する刑事捜査を開始したが、これは同氏に対して圧力をかけるための国策捜査だというのが大方の見方である。スコット・ベッセント財務長官は、パウエル議長に対するトランプ大統領の意見に与し、長引く生活コストの高止まりでパウエル氏を批判している。

FRB 議長交代の機会を得たトランプ政権と上院共和党は、後任に前 FRB 理事のケビン・ウォーシュ氏を指名した。ウォーシュ氏は政治的信条から、FRB に対するトランプ大統領の見解に賛同しており、金利の引き下げを訴えている。ウォーシュ氏の指名に対しては、上院民主党と、上院銀行委員会委員であるトム・ティリス共和党議員が反対している。反対派が懸念しているのは、ホワイトハウスに対する FRB の独立性であり、データに基づいて決定を行うという FRB の使命を果たす人物が議長を務めることを希望している。だが、共和党指導部には、指名は承認されるという確信があるようだ。

FRB
FRB



たとえ忠誠心の高い人物が議長の座についたとしても、金利引き下げの決定を行うのは 12 人で構成される連邦公開市場委員会(FOMC)であり、誰が議長になると FOMC が金利の大幅引き下げに踏み切るとは考え

にくい。一部のアナリストは、ウォーシュ氏がかつて FRB 理事を務めていたとき、インフレ・タカ派として利下げに懐疑的だったことを指摘している。したがって、ウォーシュ氏の発言がトランプ政権の考えと一致したとしても、前任者同様、財政的現実が足かせとなる可能性が考えられる。

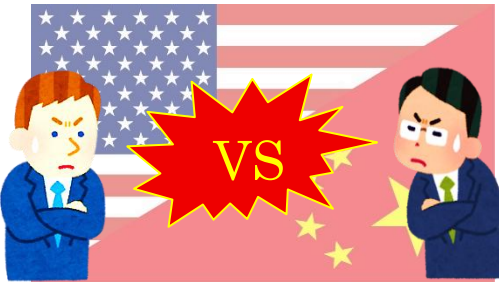
(ニューヨーク・タイムズ、2026 年 2 月 4 日)

(CNN、2026 年 2 月 2 日)

(カウンシル・オン・フォーリン・リレーションズ、2026 年 1 月 30 日)

3. 米国と中国は重要鉱物資源、自動車産業、ロボット産業で争っている

米国は中国の政策にならって、民間企業と連携した上で、政府主導による重要鉱物の備蓄推進に取り組んでいる。中国はレアアース市場を独占しており、その強い立場を利用して関税交渉で譲歩を引き出してきた。トランプ政権は中国式の国家資本主義モデルを取り入れ、米国戦略的重要鉱物備蓄(U.S. Strategic Critical Minerals Reserve、通称「プロジェクト・ボルト」)の立ち上げに向けて第一歩を踏み出した。政府機関である米国輸出入銀行はプロジェクト・ボルトに対して最大 100 億ドルの融資を行う予定で、これにより重要原材料の国内加工が実現することになり、米国の製造業者を供給ショックから守ることが可能になる。



一方、中国も、オハイオ州に自動車ガラス製造工場を持つ福耀(英語名「Fuyao」)を通じて、米国国内の自動車産業への食い込みを図っている。トランプ政権は外国資本による米国での製造工場設立を歓迎しているが、今回はその戦略が裏目に出た。福耀の進出により、メキシコのガラス製造会社ピトロのオハイオ工場が閉鎖の危機に追い込まれたのである。福耀の進出に批判的な者たちは、ダンピングや不法就労者の雇用といった不公平慣行が行われていると主張している。これは、米国国内の製造業も中国企業に独占されるのではないかと根強い不安があることを物語っている。

最後にもう一つ取り上げると、中国は人型ロボット産業に積極的に補助金を出しているが、これは巨額の国家投資と統合サプライチェーンにより世界レベルでの競争優位性を確保することを目指したものである。人型ロボット産業がこれから、他の地域でどのように発展していくかは不透明だが、米国が AI 技術の最先端に位置する国のひとつであるにもかかわらず、電気自動車同様、人型ロボットにおいても中国に大きく水をあけられているのは間違いない。

(ウォール・ストリート・ジャーナル、2026 年 2 月 4 日)

(ウォール・ストリート・ジャーナル、2026 年 2 月 9 日)

(ウォール・ストリート・ジャーナル、2026 年 2 月 7 日)

お知らせ

(一社)日本包装機械工業会、(一社)日本食品機械工業会他
「Gulfood Manufacturing 2026」日本パビリオン募集のご案内

一般社団法人 [日本包装機械工業会](#)では、2026 年 11 月に UAE・ドバイで開催される世界有数の食品・飲料製造総合展『[Gulfood Manufacturing 2026](#)』において、関連団体と共同で「[日本パビリオン](#)」を新設いたします。



Gulfood Manufacturing は、MEASA(Middle East, Africa, South Asia)を中心に、世界各国から食品・飲料製造分野の最新製品・技術やトレンドなどが一堂に会する国際見本市であり、成長著しい同地域市場へのビジネス展開を図る重要なプラットフォームとなっています。



本新規事業は、(一社)日本包装機械工業会並びに([一社\)日本食品機械工業会](#)、([協組\)日本製パン製菓機械工業会](#)の三団体が共同で実施するもので、食品・飲料の製造・加工から包装に至る一連のラインナップを「日本パビリオン」として体系的に展示・公開することにより、MEASA 及び国際的な食品・飲料関連ステークホルダーに向けて、日本の高品質かつ信頼性の高い技術力を“オールジャパン”として発信してまいります。Gulfood Manufacturing および海外展示会への出展が初めての皆様におかれましても、運営事務局が出展準備から当日の運営まで適宜サポートいたしますので、安心してご参加頂けます。



中東をはじめインド、アフリカ、ヨーロッパの食品メーカー・バイヤーとの商談のチャンスです。オールジャパンの一員として出展することで単独出店より

目立ちやすく、来場者が集まりやすい同線設計で、市場調査から現地バイヤー開拓まで、中東進出の実践的な情報が得られ、日本企業の出展もまだ少ないため、注目を獲得しやすい前項のチャンスです。

「[Gulfood Manufacturing 2026 日本パビリオン](#)」へのご参画が、MEASA および周辺地域における市場進出やビジネス拡大の契機となれば幸いです。またカタログ出展や動画参加も可能です。皆さまより奮ってのご出展を賜りますよう、ここにご案内申し上げます。

記

【Gulfood Manufacturing 2026 基本概要】

- | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|
| 1. 名称 Gulfood Manufacturing 2026 | 3. 開催都市 アラブ首長国連邦 ドバイ |
| 2. 会期 2026 年 11 月 3 日(水)～5 日(金) 3 日間 | 5. 主催 DUBAI WORLD TRADE CENTRE |
| 4. 会場 ドバイ世界貿易センター | |

[ProPak Asia 2026 日本パビリオン募集の詳細やパンフレットについては、こちらのリンクから、\(一社\)日本包装機械工業会の公式 ホームページのご案内をご参照ください。](#)



一般社団法人 日本包装機械工業会



【お問い合わせ先】「Gulfood Manufacturing 2026 日本パビリオン」運営事務局事務局

Email: gulfood2026.jp@expo.co.jp / 電話:03-5687-3986 / 担当:エリズ・西・三宅

(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構 公募4件のお知らせ

(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構(NEDO)より、以下の4件の公募の広報依頼が来ておりますので、下記の通り、お知らせいたします。

記

2026 年度 NEDO 先導研究プログラムに係る公募のご案内(エネ環)

NEDO 先導研究プログラム／エネルギー・環境新技術先導研究プログラムの公募を開始しました。皆さまのご応募をお待ちしております！

公募期間) 2026 年 1 月 26 日(月)～2 月 27 日(金)正午

公募情報) https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00108.html

公募説明会) 説明動画を Web で公開中です。<https://www.youtube.com/watch?v=e6zBs-tV0Zc>

問い合わせ先) NEDO フロンティア部 先導研究ユニット enekan@nedo.go.jp

2026 年度 NEDO 先導研究プログラムに係る公募のご案内(フロンティア育成事業)

NEDO 先導研究プログラム／フロンティア育成事業の公募を開始しました。皆さまのご応募をお待ちしております！

公募期間) 2026 年 1 月 26 日(月)～2 月 27 日(金)正午

公募情報) https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00111.html

公募説明会) 説明動画を Web で公開中です。<https://www.youtube.com/watch?v=tvXtTEgn5oQ>

問い合わせ先) NEDO フロンティア部 先導研究ユニット frontier@nedo.go.jp

2026 年度 NEDO 先導研究プログラムに係る公募のご案内(国際共同研究開発)

NEDO 先導研究プログラム／エネルギー・環境分野における革新的技術の国際共同研究開発の公募を開始しました。皆さまのご応募をお待ちしております！

公募期間) 2026 年 1 月 26 日(月)～3 月 26 日(木)(最終日正午まで)

公募情報) https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00104.html

公募説明会) 説明動画を Web で公開中です。<https://www.youtube.com/watch?v=NWf0bPnlguc>

問い合わせ先) NEDO フロンティア部 先導研究ユニット国際共同研究開発チーム shinkakushin@ml.nedo.go.jp

2026 年度 NEDO 先導研究プログラムに係る公募のご案内(未踏チャレンジ)

NEDO 先導研究プログラム／未踏チャレンジの公募を開始しました。皆さまのご応募をお待ちしております！

公募期間) 2026 年 2 月 2 日(月)～4 月 1 日(水)正午

公募情報) https://www.nedo.go.jp/koubo/SM2_100001_00110.html

公募説明会) 説明動画を Web で公開中です。<https://www.youtube.com/watch?v=O-20sxgde0w>

問い合わせ先) NEDO フロンティア部 先導研究ユニット mitou@nedo.go.jp



機械のチカラ (第14回)

(一社)日本ねじ工業協会の概要とねじに関する情報

日機連は、連合会として機械工業と密接な関連を有する様々な業界団体様に「団体会員」として、ご加入頂いております。このコーナーでは、日本の機械工業を支える、当会の団体会員様をご紹介させていただきます。今回ご紹介するのは、あらゆる部品の固定に使われ、物を緩まずに締めることができる、機械の要となるパーツである「ねじ」の工業協会様です。

概要: 一般社団法人 日本ねじ工業協会(FIJ)は、日本のねじ製造業界唯一の全国団体で、ねじ産業の技術力向上と発展を目指し、活動しています。

歴史: 設立は 1960 年 12 月 2 日(社団法人日本ねじ工業協会)、2013 年 4 月 1 日に一般社団法人日本ねじ工業協会へ移行しました。会員数は正会員 136 社(うち団体 5)、賛助会員 43 社(2025 年 4 月 1 日現在)

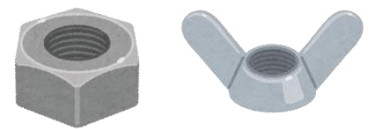
業種: 「ねじ」とは、円筒や円錐の表面にらせん状の溝(ねじ山・谷)が刻まれた部品の総称で、主に部材同士を固定(締結)したり、回転運動を直線運動に変えたりする目的で使われます。ねじの代表的な種類は、ボルト(ナットと対で使用される、大きめの「おねじ」)、ナット(ボルトと組み合わせて使われる「めねじ」部品)、ビス・小ねじ(小さな「おねじ」で、先端が尖っているものもある)、座金(ボルトやナットの下に挟み、緩み防止や座面の保護に使う)、止めねじ(部品を軸に固定する際に使う、頭部がないねじ)等です。



「ねじを知る」ページでは、ねじ産業について、現状、歴史、統計、メーカーと商社の役割、ものづくりでの役割などの情報を知ることができます。https://www.fij.or.jp/know_screw.html



6 月 1 日は「ねじの日」です。「ねじの日」は、モノづくりにおいて欠かす事のできない「ねじ」の重要性を多くの方に知ってもらおうと、日本のねじ製造・販売業者で構成する「ねじ商工連盟」が 1975 年 7 月に「6 月 1 日」を「ねじの日」として制定したことから始まります。「ねじの日」が、この日に制定された理由は、1949 年 6 月 1 日に工業標準化法が制定され、日本工業規格(JIS)にねじ製品類が指定されたことを記念してのことです。毎年、ねじに関わる企業がねじの認知度向上を目指し様々な取り組みが実施されています。



[ねじの専門業界団体、\(一社\)日本ねじ工業協会のホームページリンクはこちら!!](#)